

都市研究・京都

特集 次期京都市基本計画策定に向けて ～京都の未来像を探る～



京都市では、地域主権の時代をリードし、京都の未来を切り拓く新しい住民自治を実現するため、市民との「共汗」と政策の「融合」により、厳しい財政状況の中にあっても戦略的で効率的な行政運営を可能とする新たな基本計画を策定することとしています。

平成20年10月には、柔軟な発想により、同計画の枠組みや策定手法等の基本的な在り方を議論し、策定方針案（基本計画の枠組みと策定手法の案）のほか、政策課題の抽出とその解決策の方向性、重点施策等の素材を作成するため、「未来の京都創造研究会」を設置しました。

この研究会は、新川達郎同志社大学大学院総合政策科学研究科教授の座長のもと、「大学のまち京都」ならではの、次代を担う30歳代から40歳代の各分野で活躍されている新進気鋭の若手研究者11名で構成しています。

本号では、研究会を構成する若手研究者の方々を中心に、「京都の未来像」をテーマとして、次期京都市基本計画策定に向けた京都の政策課題や対応策などについて、それぞれの専門分野の観点から考察いただきます。